

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年12月10日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年12月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備(B)上澄液移送ポンプ点検作業後の封水ライン金属ホースからの水のしみ・滴下について】 当直員が点検作業後の既設多核種除去設備(B)上澄液移送ポンプの水張り確認において、封水ラインの金属ホースに水のしみ・滴下があることを確認。 滴下した水は、ポンプ下部に設置されている堰内に留まっており、水が滲んでいる部分の上流側の弁を閉止し、漏えいの停止を確認した。 堰内に溜まった水については、拭き取り済み。今後、水のしみがあった金属ホースを交換予定。交換までは、代替金属ホースを使用予定。</p>	GⅢ	12月4日
2	<p>【3号機原子炉建屋圧力抑制室滞留水移送ポンプ(B)の不具合について】 当社社員が滞留水移送ポンプ(A)(B)の使用前検査前の試運転において、ポンプ(B)の吐出圧力が上昇しないことを確認。 ポンプ本体、モータ、ケーブル、圧力計等、不具合箇所の検討を行ったが、原因の特定には至らず。 今後、当該ポンプを引揚げ原因調査を実施予定。 健全な滞留水移送ポンプ(A)の一部使用承認の手続きのうえ、ポンプ(A)にて3号機原子炉建屋圧力抑制室の水位低下を行う。</p>	GⅢ	12月5日